

第3学年 道徳科学習指導案

日 時 令和5年5月24日(水)第5校時
13:35～14:20
対 象 第3学年3組 31名
授業者 野崎 麗
会 場 3階 3年3組教室

研究主題

めあてに向かって主体的に学び、考える児童の育成
～キャリア教育を通して～

1 主題名

「それぞれのよいところ」 内容項目：A(4)個性の伸長

2 教材名

「三年元気組」

3 ねらい

クラスの仲間の言葉から、自分の長所を見つける「僕」の姿を通して、自分の長所を見つけ、伸ばすためには、どのような気持ちが必要かについて考えさせ、自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。

4 単元の評価規準

道徳的価値の理解	道徳的価値の理解を基に自己を見つめる	道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える	道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める
・人と比べてできることだけが長所ではなく、「好きなことを続けていることが、自分の長所につながる」ことに気付いている。	・自分のよいところや頑張っていることについて、自分を見つめている。	・一人一人にそれぞれの長所があることや、その見つけ方は様々であることについて考えている。	・自分の好きなこと、得意なことを発見し、それらを伸ばしていくために、どのようなことを大切にしていこうかと考えている。

5 主題設定の理由

(1)教材について

本単元で扱う内容は、学習指導要領第3章2節道徳科の内容項目の指導の観点において、

A 主として自分自身に関すること 4 個性の伸長
自分の特徴に気づき、長所を伸ばすこと。

この教材では、自分の特徴に気づき、長所を伸ばすことを目標にしている。今回の「三年元気組」、3学期に行う『わたしらしさ』をのぼすために」の2教材を通して、長所と短所の両面を自分の特徴として考え、自分のよさを伸ばすことが大切だということに気付かせ、目標に迫っていきたいと考える。

児童は、これまで学校内外での様々な体験を通して、たくさんの人と関わり、褒められたり、叱られたりしながら、自分の特徴に気づき、それが自分の長所や短所につながることを少しずつ実感してきたと考えられる。低学年から中学年へ進級し、成長していく中で、自分の長所だけでなく短所についても気づき、自分の特徴を多面的に捉えることができるようにしたい。その上で、長所の部分をさらに伸ばす

していきながら、自分の個性に気付くようにすることが求められる。そのために、児童が視野を広げ、他の人々の多様な個性や生き方に触れ、憧れや希望を抱ける多様な場面や機会を生かしていけるようにする。

3年生に進級したばかりの児童にとって、自分自身の特徴について多面的に捉えることはまだ難しいと考えられる。自分のよさについても、自分自身では分からないことも多い。本教材では、まず自分のよさに気付くことのできない「僕」の姿を通して、自分のよいところや頑張っていることについて自分を見つめ、その後自分自身のよさ、頑張っていることを友達と交流しながら見つけるという展開に沿って授業を進めていく。人と比べて優れていることだけが長所ではなく、「好きなことを続けることが、自分の長所を伸ばすことにつながる」ことを児童に気付かせたい。また、友達など他者との交流の機会を設定し、自分のよさに気付くとともに、互いのよさを認め合うことで長所を伸ばそうとする意欲を引き出したい。

さらに、2学期3学期と学習を積み重ねていく中で、児童が自分のよさに気づき、多面的に自己の特徴を捉えられるように、視野を広げ、他の人の様々な個性や生き方に触れ、憧れや希望を抱ける機会を設けたい。そのために、伝記などの様々な読書活動を進める。歴史に名を残すような人物も、同じように子供時代があり、自分の好きなことや楽しいことを見つけ、努力を積み重ねたこと、苦手なことを克服していったことなどを知ってもらいたい。それを知った上で、自分はどう生きていくか、何を伸ばしていくか、前向きに考えられる力を育てるための一助としたい。また、自分のよさを周りの人のために生かそうと主体的に考えようとする態度を育てていきたい。

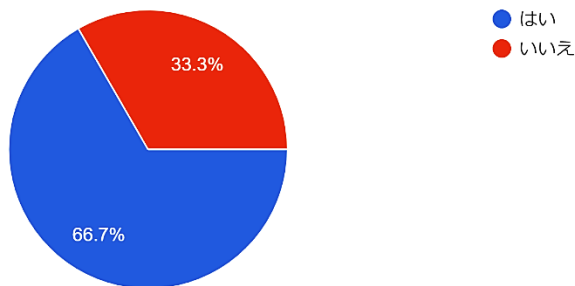
(2) 児童観

本学級の全児童31名中30名に対し、「自分のよいところはありますか。」「今、頑張っていることはありますか。」「苦手なところはありますか。」というアンケートを行った。「はい」と答えた児童には、それは具体的にどのようなところかについても聞いた。

「自分のよいところはありますか。」に対する回答は、66.7%(20人)があると回答していた。この結果は、昨年度(7月、12月)に学校全体で行った自己肯定感に関するアンケートの結果とほぼ同じであり、自分のよさについてまだ気付くことができている児童が3割ほどいる。児童に「自分のよいところ」を自覚してさせる必要があると考えた。

①自分のよいところはありますか。

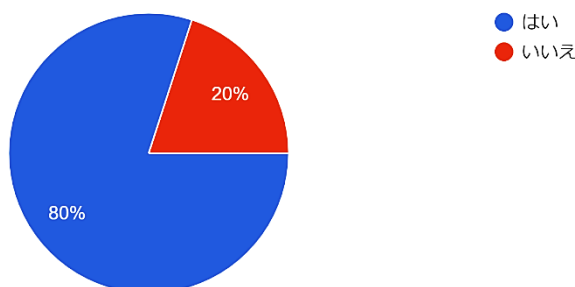
30件の回答



「今、頑張っていることはありますか。」に対する回答は、80%(24人)の児童が「はい」と回答していた。頑張っていることが、自分のよさにつながるということをこの授業を通して実感させ、自分のよさを自覚し、それを伸ばしていこうとする児童の育成を目指していく。

②がんばっていることはありますか。

30件の回答



(3) 指導観(教師の願いと指導の工夫)

キャリア教育で育成すべき力である基礎的・汎用的能力のうち、「自己理解・自己管理能力」の育成に関連する。「自己理解・自己管理能力」とは、小学校キャリア教育の手引きにおいて

『自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力である。』(国立教育研究所)

と記載されている。

3年生の現段階において、自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」にまず気付くこと、それが自分の長所につながることを実感させることで、この力を育てていきたい。

児童には、周りの人それぞれが得意なことや好きなこと、苦手なことや嫌いなことがあることに改めて気付かせたい。3年生になったばかりの児童には、改めてと言うよりも初めて実感する児童も多いかもしれない。これまでの経験の中で、保護者や、先生、友達から褒められたことや、自分の中で「楽しい!好き!」と思ったこと、そのような経験を思い出して、それが自分のよさであり、長所につながることを実感させたい。しかし、中には、そのような経験を思い出せなかったり、経験自体が少なかったりする児童もいると考えられる。そのために、友達とお互いのよさや頑張っていることを伝え合う活動を行う。このことは、自分自身のよさについて気付くために意義あることと考える。また、二ヶ月ほどで教師から見えた児童のよさを伝え、自分自身について考える材料とさせていく。日頃から教師の今までの体験を話し、身近な大人である教師も同じように学び、悩み葛藤しながら生きてきたことについても伝えていく。このような手だてを行っていくことにより、目標により迫っていきたい。

6 キャリア教育の目標に迫るための手だて

(1) 「僕」の心情の変化が分かりやすい板書の工夫

自分のよいところを見つけられない「僕」の気持ちが、友達や先生の助言を受け、好きなことも自分のよいところだと考えられるようになった心の変化についてアイコンで表す。そのことにより、自分のよいところをなかなか見つけられない児童の気持ちに寄り添い、自分にもよいところがあるということを実感するための一助としたい。

(2) 自分のよさを振り返り、伝え合う友達との交流活動

教材に出てくる「僕」のように、「好きなだけで、頑張っているわけではないからよさではない。」と考え、自分のよさについてまだ気付くことができない児童が多くいると予想される。ワークシートを活用し、自分のよいところだけでなく、好きなことも書かせ、それがよさにつながることを考えさせる。

その後、友達と交流して互いの長所を教え合い、認め合う活動を通して、自分の長所にできるだけ多く気づき、そのよさを実感させ価値付けることで、さらに個性を伸ばそうとする意欲や態度を育てたい。

(3) 自分のよさについて多面的に捉えられるワークシートの工夫


授業を通して、自分の好きなことや頑張っていることも自分のよさとなることを実感させ、改めて自己を見つめさせる。さらに、友達から見た自分のよいところをワークシートに書いてもらい、自分では気が付かなかった自分のよさについても多面的に捉えられるように工夫を行った。

7 本時


(1) ①本時のねらい


クラスの仲間の言葉から、自分の長所を見つける「僕」の姿を通して、自分の長所を見つけ、伸ばすためには、どのような気持ちが必要かについて考えさせ、自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。

②キャリア教育のねらい

自分のよいところを 見つける 目指す児童の姿：ポジティブに取り組み、自分のよいところを見つけよう 3 学 年：よいところを見つける	
---	---

(2)本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価基準 ★キャリア教育の目標に迫るための手 だて
導 入	1 自分たちの実態を把握し、めあてを確認する。 ○Google Forms でとったアンケートで、自分のよいところを「はい」と答えた人は、どれくらいいるでしょう。 ○今、自分が頑張っていることは、どんなことですか。 ・サッカーを頑張っている ・漢字の勉強を頑張っている ・頑張っていることは特にない	・アンケートの結果をクラスで見ても、自分たちがどれほど自分のよいところに気付くことができているのか実感させる。 ・「頑張っていることはない」と答える児童に対して、共感する。そして、教材文の主人公も同じ気持ちであることを伝え、まずは教材文を読んでみる意欲を高めさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分のよいところについて考えよう。</div>		
展 開	2 「三年元気組」を読んで、話し合う。 ①「友広君は、スピーチで何を話すの？」と聞かれて困っている時の「ぼく」は、どんなことを考えていたでしょう。 ・「ぼく」には自慢できることや頑張っていることはない。 ・何を話せばいいんだろう。 ・読書は、頑張っているわけじゃない。好きなだけだから、「がんばりじまん」にはならないな。 ②「ぼく」は、どうして、話す気になれなかった「読書」のことをスピーチで話そうと決めたのでしょうか。 ・好きなことを続けることが、「がんばりじまん」につながるようになったから。 ・自分のよいところは、読書が好きで続けていることだと思ったから。 ③昼休みに高学年向けの本に挑戦した「ぼく」は、どんなことを考えていたでしょう。 ・難しい本に挑戦して、自分のよさをもっと伸ばしたい。	・「読書は好きなだけで、頑張っていないから自慢にはならない。」と思い込んで迷っている姿を明確にし、「ぼく」の思いに共感させる。 ★板書の工夫 ・友達や先生の助言を受けた「ぼく」の気持ちを考えさせることで、自分を肯定的に受け止めることができた「ぼく」の気持ちに迫らせ  ・自分のよさをさらに伸ばしていきたいと前向きに考える「ぼく」の気持ちに気付かせる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にもよいところがあったことが嬉しい。 ・みんなが見つけてくれたよさをもっと伸ばしたい。 <p>3 自分について振り返る</p> <p>○自分のよいところや、頑張っていることを友達と教え合いましょう。自分のよいところをワークシートに友達に書いてもらいましょう。</p>	<p>★ワークシートの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを活用し、互いのよいところを教え合う活動を行う。 ★自分のよさを振り返り、伝え合う友達との交流活動 ・自分のよさに気付くことのできない児童には、自分の好きなことからよさを考えられるようにしたり、友達に見つけてもらったりする。教師も机間指導をし、児童のよさについて伝える。 
まとめ	<p>4 振り返り</p> <p>○自分のよいところはどこですか。また、よいところをさらに伸ばすために、これからどんなことをしていきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところは絵が上手なところと言われて、嬉しかった。イラスト会社でもっとたくさん絵を描きたい。 ・自分のよいところは、足が速いところ。友達と休み時間にみんなで楽しく遊びたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書いた自分のよさを基に、これから自分はどうしていきたいのか考える。 ◇自分の長所を見つけ、伸ばすためには、どのような気持ちが必要かについてを考え、自分の特徴に気付き、長所を伸ばそうとする実践意欲と態度が育ったか。(ワークシート)

8 板書計画

○「読書」でスピーチをしようと思った「ぼく」の気持ち

- ・好きなことをつづける↓「がんばりじまん」
- ・読書がすきでつづけている↓「自分のよいところ」

○高学年の本にちょうせんした「ぼく」の気持ち

- ・自分のよいところがあって、うれしい。
- ・もっとがんばりたい。
- ・よさをもっとのばしたい。

○自分のよいところをさらにのばすために、これからどんなことをしていくか。

↓イラスト会社でもっとたくさん絵をかきたい。

↓友だちと休み時間にみんなで楽しくあそびたい。

○「がんばっていること」

- ・サッカーをがんばっている
- ・漢字の勉強をがんばっている

↓

自分のよさ

三年元氣組

自分のよいところについて考えよう。